

ISO/TC 68 国内委員会総会 議事録¹

日 時：2021 年 6 月 8 日（火）10：00～15：00
場 所：日本銀行本店（電話会議）
出席者：ISO/TC 68 国内委員会 松本委員長・委員・リエゾン・事務局
日本銀行 神山決済機構局長、森参事役 ほか

- 2021 年 6 月 8 日に開催された ISO/TC 68 国内委員会（以下、当委員会）総会の議事の模様は以下のとおり（詳細は当日配付資料を一部抜粋した別添資料を参照）。

開会挨拶

委員会委員長の松本横浜国立大学教授、日本銀行決済機構局の神山局長および森参事役が開会挨拶を行った。

- 松本委員長は、新型コロナ禍で厳しい状況が続く中、今回も電話会議による開催となったが、標準化活動については順調に進んでいると認識している。わが国の金融サービス、とりわけ決済サービスにおいて特に重要な時期に来ているので活発な議論をお願いしたい、と述べた。
- 神山局長は、5 月 25 日公表の決済システムレポート別冊「デジタル通貨に関する情報技術の標準化」は、2020 年 10 月に公表した「中央銀行デジタル通貨（CBDC）に関する日本銀行の取り組み方針」を踏まえて、取り組んだものである。現時点で CBDC を発行する計画は無いが、仮に CBDC がクロスボーダーを含めた決済に広く用いられることを想定した場合には、標準化などを通じて相互運用性や信頼性の確保を図ることが重要であり、ISO/TC 68 の議論も踏まえて、しっかり検討を進めていきたい、と述べた。
- 森参事役は、本日、各取り纏め役から、日頃の標準化活動を凝縮するかたちでご報告いただくが、今回は、委員相互間および事務局との双方向のコミュニケーションを重視する取り組みとして、資料書式を標準化した上で、各国内作業部会の委員に資料も取り纏めいただいた。御礼を申し上げるとともに、今後の委員会運営に向けて引き続きご意見・ご感想をお寄せいただきたい、と述べた。

¹ ISO（the International Organization for Standardization：国際標準化機構）/TC 68（金融サービス分野の専門委員会）は、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等を対象とする専門委員会。

1. ISO/TC 68 の報告

1-1. SC2、1-2. SC8、1-3. SC9、1-4. TC68

最近の ISO/TC 68 の動向について、TC 68 および同傘下の WG・SG・AG 毎に、各国内作業部会の取り纏め役（もしくは事務局）から、策定中のドラフトや規格について、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

2. ISO/TC 68 関連の報告

2-1. ISO 20022 RMG

ISO 規格「ISO 20022」（ISO/TC 68/SC 9 所管）の登録管理グループ（ISO 20022 RMG）および同傘下グループの SEG 等の動向について、田貝氏（ISO 20022 RMG Convenor）、橋本（日本銀行／RMG メンバー）、各 SEG 等のエキスパートから、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

2-2. ITU-T/Digital Currency Global Initiative

国際電気通信連合（International Telecommunication Union）・電気通信標準化部門（Telecommunication Standardization Sector）のデジタル通貨グローバル・イニシアティブ（Digital Currency Global Initiative）が取り組んでいる研究に関して、葛城（日本銀行）から、概要・経緯・足許の進捗状況等の報告項目で説明が行われた。

3. リエゾン・経済産業省からの報告

3-1. ISO/TC 307（Blockchain and Distributed Ledger Technologies）

ISO/TC 307 国内審議委員会の楠委員長より、TC307 の最近の動向について報告が行われた。

3-2. ISO/IEC JTC 1²/SC 17（Cards and Security Devices for Personal Identification）

ISO/IEC JTC 1/SC 17 国内委員会の廣川委員長より、SC 17 の最近の動向について報告が行われた。

3-3. ISO/IEC JTC 1/SC 27（IT Security Techniques）

² ISO と IEC（International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議）との合同技術委員会。

ISO/IEC JTC 1/SC 27 専門委員会の渡邊委員長より、SC 27 の最近の動向について報告が行われた。

3-4. ISO/IEC JTC 1/SC 37 (Biometrics)

ISO/IEC JTC 1/SC 37 専門委員会の新崎委員長より、SC 37 の最近の動向について報告が行われた。

3-5. 経済産業省産業技術環境局国際電気標準課 (JISC)

経済産業省産業技術環境局国際電気標準課 (JISC) の林課長補佐より、標準化をめぐる最近の動向について講演が行われた。

4. 委員会審議

4-1. 委員会運営体制の見直し (ISO 20022 RMG の国内作業部会の廃止)

事務局より、ISO/TC 68 および ISO 20022 RMG の国際体制に合わせて当委員会の ISO 20022 RMG 傘下の各 SEG 等に紐づく国内作業部会を廃止することを提案し、異議なく承認された。なお、同部会の委員は、関連する SC 9/AG 1 国内作業部会に参加いただくことで委員会活動を継続いただくこととなった。なお、本件にかかる委員委嘱状および委員就任承諾書の授受は、後日別途行うこととした。

—— 当委員会では、2019 年 7 月の委員会運営規約改正時に、TC 68 国際体制に合わせて ISO 20022 RMG を含む国内作業部会を設置した経緯。その後、2020 年 9 月の SC 9 Plenary 会合の決議により、SC 9 傘下に AG 1 (ISO 20022 RA Oversight Group) が新たに設置され、これにより ISO 20022 RMG の役割も一部変更されることとなった。

4-2. 委員会運営規約の一部改正

事務局より、前述 4-1.に伴う運営規約の一部改正を説明した。委員各位に改正案を審議いただき、承認を得た。

4-3. 委員加入手続きの変更 (委嘱状、承諾書の押印廃止)

事務局より、昨今の政府が推進している書類への押印廃止対応を受けて当委員会でも委員委嘱状および委員就任承諾書における押印の廃止および代替手続きを提案した。委員各位に変更案を審議いただき、承認を得た。

4-4. TC 68 国内委員会総会の議事録、TC 68 活動報告書

4-5. TC 68 国際投票案件（2020 年 11 月 9 日総会からの進捗分、2021 年 5 月末時点）

事務局より、前回総会以降にメール審議を実施した国際投票案件の状況について席上で確認を行った³。

5. 事務局からのご連絡

5-1. 委員の異動（2020 年 11 月 9 日総会以降の変更、2021 年 5 月末時点）

5-2. 新型コロナウイルスの影響について

5-3. 「ISO パネル（第 3 回）」の Webex 開催（6 月 23 日）について

5-4. 決済システムレポート別冊「デジタル通貨に関連する情報技術の標準化」の公表 （日本語版：5 月 25 日、英語版：6 月 9 日）

5-5. 次回総会の開催予定

次回の ISO/TC 68 国際会合は 2021 年 9 月 27～28 日および 10 月 4～5 日、ISO 20022 RMG 国際会合は 2021 年 9 月 29 日に開催される予定であること、また、ISO/TC 68 国内委員会総会は 2021 年 12 月 21 日に開催を予定していること等を連絡した。

以 上

³ 国際規格の開発には、以下の 6 段階のプロセスがある*。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。
※ 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7 段階のプロセスとなる。